

令和
8年度

静岡県職員募集総合案内(農業土木職)

THE VOICE
先輩職員の声



住みたい「農村」がしづおかにはある



静岡県経済産業部農地局

農業 × 土木 で静岡の「みらい」をつくる

静岡の農業・農村は、息を呑むような美しい景観と、多彩な農林水産物に恵まれています。大都市からのアクセスも抜群で、移住希望地ランキングで常に上位※の静岡は、誰もが憧れる高いポテンシャルを秘めています。(※NPOふるさと回帰支援センター公表)

農業・農村は大きな変革の時を迎えてます。農業者の減少や農村集落機能の低下が急速に進行し、持続性が危ぶまれています。今こそ、農業土木の力が必要です！生産性を向上させる基盤整備や、地域資源を保全・活用する地域活動が「みらい」をつくる重要な役割を果たします。

静岡には、あなた自身の手で「みらい」を切り拓くチャンスがあります。美しい自然に囲まれた環境で、地域の人々と共に成長したあなたの情熱とアイデアが、地域をさらに魅力的にする力となります。

Create the future of

Public Relations 農業農村の広報

～合言葉は、職員全員が広報パーソン～

広報によって農村の魅力を広く発信することができれば、地域との信頼関係の構築、ひいては関係人口や定住人口の増加にもつながるため、農村振興技術者の全員が広報パーソンという意識を持ち、農業農村整備や農村振興施策への正しい理解を深めるため、各種SNSやホームページ、季刊誌等で情報発信しています。

●各種SNSで“しづおかの農業農村整備”を発信

SNSで農の営みを支える戦略的な生産基盤づくりを中心に情報を発信しています。



 Facebook ▶



 Instagram ▶



 @noukei_shizuoka ▶



Shizuoka



● “ふじのくに美しく品格のある邑”に関する発信

邑づくりの概要や、各邑の情報等をウェブサイトで掲載することで、県内外に広く情報を発信しています。



オフィシャルウェブサイト
www.shizuoka-murasapo.net
しづおか むらサボ 検索



Instagram
www.instagram.com/murasapo/



オフィシャルウェブサイト
<http://www.fujinokuni-mura.net>
美しく品格のある邑 検索

● 静岡県「静岡県の農業土木職を目指す方へ」

農業土木職を目指す皆さんのキャリアイメージを支援するために作成したホームページで、仕事内容や先輩職員の声を掲載した採用パンフレットや本紙「しづおかの農業農村整備2025」等を掲載しています。



パソコン・携帯から

静岡県 農業土木

農業土木

地域の特色を活かした
農業農村整備を推進します

事業計画

01

しづおかの農業農村整備 農村計画課
地元説明会 農林事務所農村計画課

地域のニーズに沿った農業農村整備の事業計画を策定し、地元関係者からの同意を得る業務です。地域に住む人やそこで農業をしたい人が真に求めるものを形にするためには、よく聞き、丁寧に説明する地道な作業を繰り返します。



農山村振興

03

しづおかの農業農村整備 農地保全課
つなぐ棚田遺産 美しく品格のある邑 むらマッチ

本県は農山村振興施策に積極的に取り組んでおり、美しく品格のある邑（むら）の活動などバラエティに富んだ施策は全国でも有名です。コミュニティに飛び込み、ともに汗を流し、意見交換することで地域との絆が強まります。



工事監督

02

しづおかの農業農村整備 農地整備課
区画整理 用水路 暗渠排水 農林事務所農地整備課

農業土木職員の重要な業務は、構造物を設計し、工事を発注し現場を監理することです。設計通りに確かな品質の構造物が出来上がっているのか確認する必要があるため、現場に通い状況を常に把握することが大切となります。



維持・管理

04

しづおかの農業農村整備 農地保全課
農地防災ダム 地すべりパトロール

県で建設した農業用施設の大半は農業者が自ら管理していますが、重要な施設等は県が維持管理業務を担っています。県民の生命・財産を守るダムや地すべり防止施設等の管理は特に重要な任務であり日常点検が欠かせません。



データで見る農業土木職員

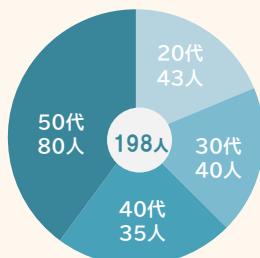
01 男女の割合は

静岡県庁の農業土木職員は198人で、8割以上を男性が占めていますが、近年は、女性職員が年々増加しています。



02 若手職員の割合は

農業土木職員全体の4割は、20代、30代で、相談しやすい職場環境となっています。

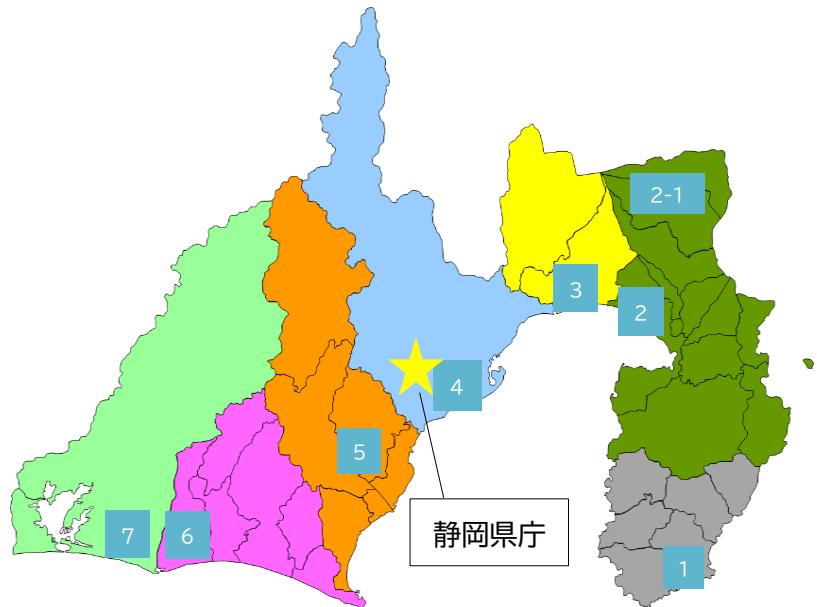


組織図

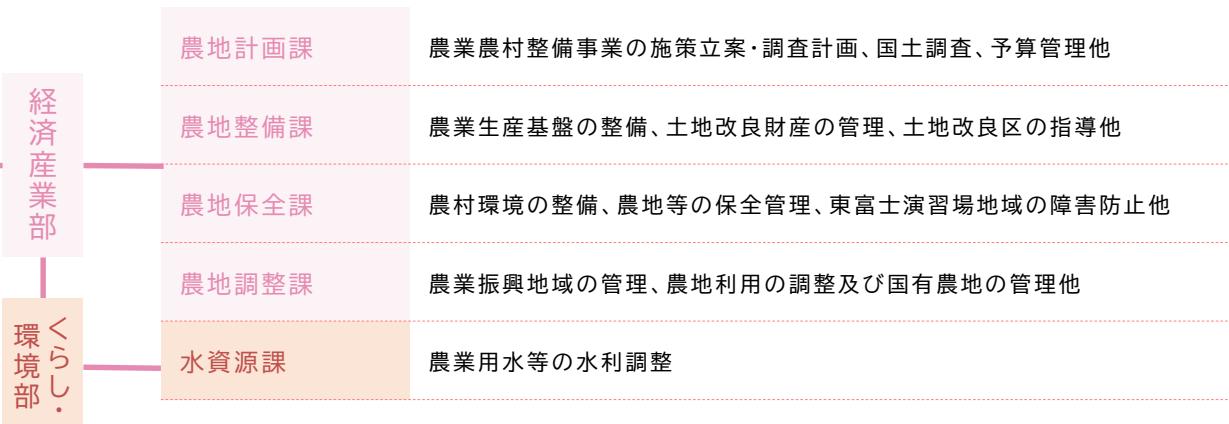
農業土木職で採用されると県庁や各農林事務所で農業農村整備に関する業務を担当します。

県庁では、施策立案や予算事務、県議会対応、国等との調整が主な仕事です。

一方、農林事務所では、実際に地域住民と接し、意見を聞いて、工事や地域活動を先導します。



県庁



出先

1 賀茂農林事務所	下田市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町
2 東部農林事務所	沼津市、熱海市、三島市、伊東市、御殿場市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、清水町、長泉町、小山村、函南町
2-1 御殿場支所	東富士演習場及びその周辺(御殿場市、裾野市、小山村)
3 富士農林事務所	富士宮市、富士市
4 中部農林事務所	静岡市葵区・駿河区・清水区
5 志太榛原農林事務所	島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町
6 中遠農林事務所	磐田市、掛川市、袋井市、御前崎市、菊川市、森町
7 西部農林事務所	浜松市中央区・浜名区・天竜区、湖西市

(下線市町:農林事務所の所在市町)

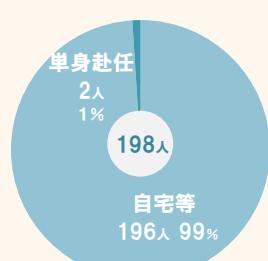
03 採用3年以内の離職者は

過去10年間(H25～R4)に採用された農業土木職員68人中で、採用後3年以内に離職した人数は3人で4.4%であり、全国の大卒平均34.9%よりも極めて少ない状況です。R3以降の採用者は30人いますが、離職者はいません。



04 単身赴任者の割合は

農業土木職員198人のうち、**単身赴任者はわずか2名**。新幹線通勤が活用できるため、転居を伴わない異動がほとんどです。



農地の大区画化整備

- 茶・柑橘等の樹園地は、急傾斜・小規模な園地が点在している地域が多く、多大な労力を要しています。
- 地域の特性を生かしながら、生産性及び収益性を向上させるための基盤整備を実施しています。
- 加工・業務用として需要が高い露地野菜の生産拡大を図るため、水田の暗渠排水整備や区画整理等を実施し、汎用化・畑地化を進めています。



多様な品目が栽培可能に！



スマート農業の導入支援

- 近年デジタル技術が急速に発展しており、農業や施設管理の分野で活用可能な技術が数多くあります。
- 水田農業の作業を効率化するICT水田水管理システムや農業用施設の遠隔監視システムの導入を積極的に進めており、営農の簡略化や施設管理の省力化を図ります。



農業用水の安定供給

●農業用水を持続的かつ安定的に供給するため、老朽化した水路やポンプ等の農業水利施設について、計画的かつ効率的な更新整備を推進しています。



ポンプ設備の更新



水路を整備し
農業用水を届ける！

曾我用水地区(掛川市)

農地と暮らしの保全

●大規模地震、風水害、土砂災害等の自然災害から、県民のかけがえのない生命や財産を守るために、防災重点農業用ため池や排水機場等の農地・農業用施設の防災・減災対策を進めています。



排水機場の更新



堤体を整備し
決壊しないため池に！

蛭沢池(浜松市)

農山村の振興

●農業・農村の有する多面的機能を維持・発揮していくために、地域住民の地域ぐるみの保全管理活動を支援するとともに、活動の持続性確保に向けて関係人口の拡大につながる取組を推進しています。



多様な人々と共に
地域を盛り上げる！



美しいくに 美農里プロジェクト(浜松市)



農村を支える、若手職員たち。

農業は人が生きていくために必要な営みです。そして、その農業の基盤を形作るのが私たち農業土木技術者の使命です。自分たちの技術やノウハウで改良された農地や施設が、地域の発展につながるのが、この仕事のやりがいであり魅力です。

THE VOICE
先輩職員の声



地域から信頼され、
期待に応える工事を実施したい

1 担当している業務内容をおしえてください。

私は、5市1町(磐田市、掛川市、袋井市、御前崎市、菊川市、森町)を管内とする中遠農林事務所で、区画整理工や暗渠排水工といった水田のほ場整備や用水路の更新・補修する工事に携わっています。工事の発注までには、地元組織との調整や設計書の作成をしています。工事では、現場での立会や受注者からの提出書類を通して、適正かつ安全に施工を行うよう工事監理を行っています。

2 仕事で印象に残っていることをおしえてください。

私は令和7年度までに4つの地区のほ場整備事業に携わりました。最初は、どの地区も同じ要領では場整備を進めていくこうしていました。しかし、地元とそれぞれ打合せをしていく中で、耕作者ごとに作付や営農方法が違うため、同じ事業でも地区によって施工方法や注意する点が様々でした。仕事をしていく中で、「耕作者目線で考える」ことの大切さ、そして柔軟な対応が必要であることを痛感しました。

3 これから目指す職員像をおしえてください

耕作者のみなさんから信頼され、共に地域が抱える農業の課題の解決に取り組むことができる職員を目指しています。地域づくりや農業の課題を解決するため、基盤整備事業を進める上では、行政と地元耕作者が協力し合っていかなければなりません。そのためには、一つ一つの耕作者の声に対し、直接耳を傾け、双方ともに納得いくまで打合せを重ねることが必要だと考えています。様々な現場を見て知識を深めていき、耕作者の要望を最大限汲み取れるようになりたいと思っています。



Message

現場ごとに違う、だからこそ魅力がある

農業土木職は、水田・畑のほ場整備や農業水利施設の建設、保全等を行っており、農業の生産基盤や農村の生活環境を支える重要な役割を担っています。事業を進めていく中で、様々な課題に直面しますが、多方面の方々からの協力によって最終的に目に見える形で成果が出たときは、とても大きな達成感を感じます。

実際現場に行って、耕作者の方々や市町の職員、施工業者さんの意見を聞いて現場を学んでいきます。現場によって学ぶこと、感じることは全然違います。そんな仕事だからこそ魅力があり、静岡県の農業に引き込まれていくと思います。



Interview 01

伊藤元哉 / Genya Ito

Profile

中遠農林事務所 農村計画課 令和6年採用

次世代へつなぐ工事に携わる

私は学んだ知識を活かして地元の農業農村の発展に貢献したいという思いから静岡県を志望しました。

農業土木の仕事は、関係者と話し合い、要望を取りまとめ、建設業者さんへ調査や測量、設計業務をお願いしながら事業実現のためにより綿密な計画を立てていきます。様々なひとたちとの連携が必要で大変なこともありますが、地域の農地や水路等の農業用施設を整備し、農業を次世代につなげるやりがいの大きい仕事です。計画から整備まで幅広く携われることや成果が形として残り、地域の方々から感謝の言葉をいただけるのも魅力のひとつです。



Profile

東部農林事務所 御殿場支所 令和4年採用

地域の特徴を守りながら農業を守りたい！

大学で農業土木に関わる学問を履修しており、それを活かして故郷である静岡県の農業を支えたいと考え、志望しました。

現在は、御殿場市における農業用管水路の更新工事を担当しています。この地域では、水稻や水かけ菜など水をたくさん使う農産物が盛んに栽培されており、安定した水の供給がとても大切です。数十年前に作られた水路などの施設を利用している地域が多いため、その施設を維持管理・更新することは、営農するうえで欠かせない重要なことです。

私が担当する工事はまだ完成していませんが、前任者が更新した施設を利用して農業を営む様子を見ると、とてもやりがいを感じます。



Interview 02

影山侑紀 / Kageyama Yuki



採用WEBで「先輩職員の声」も随時更新中！ぜひご覧ください。詳しくは▶



Profile | 経済産業部農地局 農地計画課 令和2年採用

仕事もプライベートも全力！

大学で農業土木の分野を勉強するようになり、農村の環境を整える仕事につきたいと強く思うようになりました。そして、地元である静岡県の農村をよりよくする農業農村整備事業に携わりたいと思い、県職員を志望しました。

現在は農業農村整備事業とは少し離れて、土地に関する業務を担当していますが、今学んでいる知識や経験は、今後に必ず役立つものになるので一生懸命取り組んでいます。

また職場の雰囲気がとてもよく、休暇申請も出しやすいため、県外へライブに行くことが多いです。自分がスキルアップしていることを感じながら、プライベートも充実することができるので、とても楽しい職場です！



Interview 03

森舞香 / Mori maika



Interview 04

松田任平 / Matsuda Jinpei

Profile | 東部農林事務所 農村計画課 令和3年採用

静岡県の農業の発展に貢献したい！

静岡県庁のインターンシップに参加した際、地域住民や市町職員など多くの関係者と打合せをし、地区の農業に関する課題を解決するために事業提案している先輩方の姿を見て、自分も出身地である静岡県の課題に取り組みたいと感じました。

現在は、農業農村整備事業の計画や災害復旧事業、地籍調査事業など、幅広い業務に携わっています。東部管内では関係市町が多いため、関与する方々も自然と増えています。さまざまな方々がいる中で、それぞれのニーズに適した事業提案を心掛けています。また、個々の協議を重ねることで、共通の意識をもって地域の課題解決に向けて、前進していくことにやりがいを感じています。



わたしたちの「暮らし」と「仕事」

Life & Work



1 プライベートとの両立



Interview 05

増田 亮太 / Ryota Masuda

賀茂農林事務所農村計画課 令和4年採用

計画的に業務を執行し、プライベートを確保

賀茂農林事務所で、基盤整備事業の新規計画・工事実施を担当しつつ、棚田などの農村振興にかかわる事業の推進をしております。「美しく品格のある邑」に登録されている石部棚田の田植えや草取り・稻刈りにオーナーとして参加したり、地元の特産品を用いた大会に出場したりと密に農村と関わっています。

プライベートとしては、有給を利用してまとまった休みが確保できた際に、趣味の旅行で全国各地を巡っています。昨年度は業務を調整して長期の休暇を取得し、四国八十八箇所を回り高野山にて満願成就させていただきました。自身の裁量で業務を執行し自由にスケジュール調整できるため、プライベートも充実できます。



2 育児との両立



Interview 06

鈴木勇人 / Yuto Suzuki

志太榛原農林事務所農地整備課 平成25年採用

子育て支援制度フル活用で仕事と育児を両立

私は長男が生まれた時に約半年の「育休」を取得し、復帰後も「部休」を活用しながら、育児と仕事の両立に挑戦しています。育休や部休というと、男性が取得しづらいイメージがまだまだありますが、本県の職場では、男性の取得に対して非常に理解があり、仕事の引継ぎや割り振りについて配慮してもらえます。

自分の体験談ですが、育休取得について初めて上司に相談した時、当時の上司から嫌味を言われるかと思っていたら「育休いいね～どんどん取りな！俺も取れるなら取りたかった(笑)」と言ってもらえたことが、強く印象に残っています。

仕事と家庭の両立は、共働き世帯が直面する大きな課題で、毎日が挑戦ですが、いつか家庭が落ちついた時には周りの職員に恩返しができるように、今後も挑戦を続けていきます。

多様な職員が活躍できる職場環境づくり

【 時差勤務出勤制度 】

勤務時間を9パターンから選択できる時差勤務制度があります。

ライフスタイルに合わせて柔軟に選択でき、他の休暇制度との併用可

例 (正規)7時間45分勤務の場合

8:30～17:15(通常)
7:30～16:30／8:00～16:45
9:00～17:45／9:30～18:15

【 育児・介護等との両立支援 】

育児休業(子が3歳まで)、部分休業(子が小学3年生まで、1日2時間以内)や介護休暇など、仕事と家庭を両立しやすい職場づくりに取り組んでいます。

男性の育児休業取得率

令和5年度実績

77.9%

時代の変化に柔軟に対応しながら、
働きがいのある・働きやすい環境づくりを進めています。

静岡県庁の働き
方改革について
詳しくはこちら



3 民間経験から県職員へ



Interview 07

村松 良輔 / Ryosuke Muramatsu

西部農林事務所農地整備課 令和4年採用

農業と土木、どちらにも貢献できる

公務員を目指したきっかけは、県全体の農業基盤を支えつつ、土木関係の仕事にも携わる事ができる農業土木分野に強く興味を持ったことです。

元々自然科学系の学問を専攻しており、農業に対して興味を持っていました。(植物が好きで家庭菜園にも取り組んでいました。)また、土木・造園関係の仕事をしており、工事が好きであったことから、農業と土木どちらにも貢献できる農業土木職に魅力を感じました。大変な一面もありますが、大きな事業に携わり、今まで経験のない工事にも挑戦し、地域貢献ができる充実感のある仕事だと思います。



4 大学で他分野専攻



Interview 08

諏訪 朝香 / Tomoka Suwa

東部農林事務所御殿場支所 令和3年採用

自然や食、歴史に携わる仕事がしたい

行政職を志望してインターンシップに申し込んだところ、農地局に配属となり、そこで、農業土木職という職種があること、農業の基盤整備や地域振興を行っていることを知りました。大学では地理学科でしたが、自然や歴史に携わる仕事がしたかったのと、食に関わる大事な仕事だと感じたことからこの職種に決めました。入庁してからの4年間はハード分野に携わり、工事発注や工事監督業務を主に行っています。専門的な知識も、一般的な事務作業も、今でも力不足を感じることが多いですが、経験の積み重ねが大事という言葉をいただき、相談や基準書を確認して、仕事を進めています。



働き方改革の推進

【 変わる職場環境 】



個人で使用するパソコンはモバイル型であるため、出張の前後に、サテライトオフィス(県総合庁舎内)の利用や在宅勤務が可能となり、働く「場所」の多様化を図ることで業務の効率性を高め、職員のワーク・ライフ・バランスを推進しています。

【 年次有給休暇 】



静岡県では、年間20日の年次有給休暇が毎年付与されます。

1時間単位の有給休暇も取得でき、計画が立てやすいです。

年次有給休暇取得日数
令和5年度実績

平均
12.5日

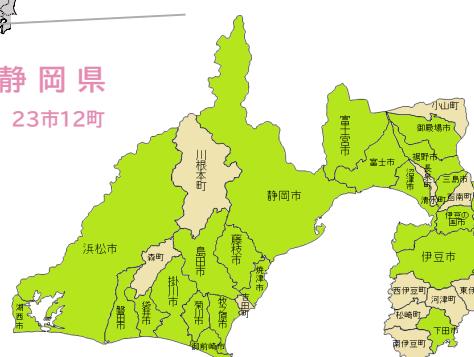
移住希望地ランキングで常に上位！

誰もが、住みたい、訪れたい、 選ばれるしづおか

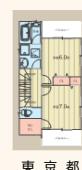
豊かな自然環境と一年を通して快適な気候に恵まれている静岡県。
大都市圏へのアクセスも良く、たくさんの魅力が揃っている“移住好適地”です。



静岡県は日本のほぼ真ん中にあり、
首都圏にも中京圏にも近く
アクセスが良好です。



●住宅の広さ比較



データで見る しづおかライフのメリット

01 HOME 住まい | 快適で広々とした住まい空間

首都圏と比べると持ち家率が高く、居住空間も広いのが静岡県の特長。
広々とした暮らしの舞台で、のびのびとした暮らしを満喫しましょう。

●持ち家率

67.4%

●住宅の広さ

268 m²

R5住宅・土地統計調査

02 JOB 仕事 | 通勤時間の短さが、 毎日のゆとりに

毎日毎日、長時間の通勤を余儀なくされる首都圏での生活。
でも静岡ならそんな通勤の苦労とも無縁。趣味や家族との時間を
豊かに楽しめます。

●通勤時間(往復)

67分

●通勤時間比較



R3社会生活基本調査

01

温暖な気候で快適、暮らしやすい環境

一年を通じて、極端な温暖差がなく、山間部を除いた生活圏に雪が降りにくい穏やかな暮らしができる土地です。



02

国内有数の美しい自然と文化の深さ

静岡県を象徴する世界遺産 富士山をはじめ、ぐるりと囲む駿河湾は風光明媚に相応しい風景を堪能できます。



03

陸・空でアクセスが便利

静岡県は、東京から名古屋を横断する交通網をはじめ、2009年に開港した富士山静岡空港から日本各地、アジア圏への移動も可能です。



04

トップクラスのグルメの充実

温暖な気候と海と山に恵まれた静岡県は、グルメも国内トップクラス。静岡ならではの地場産品が豊富に揃っています。

ほどよい田舎、ほどよい都会

あなたの理想の暮らしが叶います

東西に広い静岡県。地域ごと特色も違い、様々な暮らしができます。例えば豊かな自然に囲まれた里山暮らし、マリンジャーを楽しむ海辺暮らし、便利な地方都市暮らしなど、あなたにピッタリの地域がきっと見つかります。



03

COST
お金

経済面での安心と、高いQOL

首都圏に比べ、家賃が安くて物価も低い静岡県なら、より高いQOLを実現して、豊かな将来像を描くことができます。

●賃貸家賃(1畳当たり)

2,982円

東京都:6,450円
神奈川県:4,628円

●戸建て住宅価格(平均面積当たり)

住宅金融支援機構「フラット35利用調査」(2024年度)

静岡	3344
東京	5522
神奈川	4158

●消費者物価地域差指数(全国100)

2020年小売物価統計調査(総務省統計局)

静岡県	98.3
東京都	105.2
神奈川県	103.2

04

CULTURE
文化

歴史・文化・自然関連の施設も多彩

静岡市では家康公ゆかりの「大御所花見行列」を行う「静岡まつり」が行われ、浜松市では約170枚の凧が揚げられる「浜松まつり」が行われます。ほかにも地域のごとに特徴的な祭典が催されています。



●自然

富士山
駿河湾
伊豆半島
浜名湖
南アルプス
ほかにも身近に自然がたくさん！



給与手当

基本給

25.1万円

※地域手当を含む

期末手当・勤勉手当

4.65か月分

※令和7年度実績

住居手当

3万円

※支給限度額

試験内容

4月実施 早期試験

令和8年度試験日程

受験案内公表 1月23日

申込受付期間 3月2日～20日

第1次試験 4月19日

第1次合格発表 5月上旬

第2次試験 5月18日～29日

最終合格発表 6月中旬

令和8年度試験内容

第1次試験

適正検査SPI
(70分)

民間企業の採用選考でも取り入れられている試験で、出題数70問(検査I言語40題、検査II非言語30題)の択一式による試験

第2次試験

専門試験
(120分)

農業土木に関する専門知識、技術等についての択一式による試験。

論文試験
(90分)課題に対する理解力、論理性、表現力等についての記述式による筆記試験
※1次試験日に実施しますが、採点は2次試験で行います。

適性検査

職員としての適性についての検査

面接試験

集団討論と個別面接による口述試験

6月実施 大学卒業程度試験 [参考:下記の情報は令和7年度に実施した試験の内容です]

令和7年度試験日程

受験案内公表 5月9日

申込受付期間 5月9日～23日

第1次試験 6月15日

第1次合格発表 6月25日

第2次試験 7月上旬～8月上旬

最終合格発表 8月22日

令和7年度試験内容

第1次試験

基礎能力試験
(120分)

大学卒業程度の一般知識及び知能についての択一式による筆記試験で出題数40題全問回答。

・知識分野(社会科学、人文科学、時事)13題
・知能分野(文書理解、判断水利、数的推理、資料解釈)27題

第2次試験

専門試験
(120分)

農業土木に関する専門知識、技術等についての択一式による試験。

論文試験
(90分)課題に対する理解力、論理性、表現力等についての記述式による筆記試験
※1次試験日に実施しますが、採点は2次試験で行います。

適性検査

職員としての適性についての検査

面接試験

集団討論と個別面接による口述試験

専門試験出題内容

農業土木

数学、応用力学、水理学、測量、土壤物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、材料・施工、農業機械、農学一般

配点

第1次試験		第2次試験		合計
SPI試験 or 基礎能力試験	専門試験	論文試験	面接試験	
32点	48点	40点	480点	600点

静岡県は人物重視の採用を行っており、面接試験の配点が8割と高いため、筆記試験に自信がなくても合格のチャンスが高くなっています。



静岡県経済産業部農地局農地計画課

〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号東館10階

TEL:054-221-3283 FAX:054-221-2449

E-mail:noukei@pref.shizuoka.lg.jp

HP: <http://www.pref.shizuoka.jp>